

令和3年度の当初予算はどうなっているの？

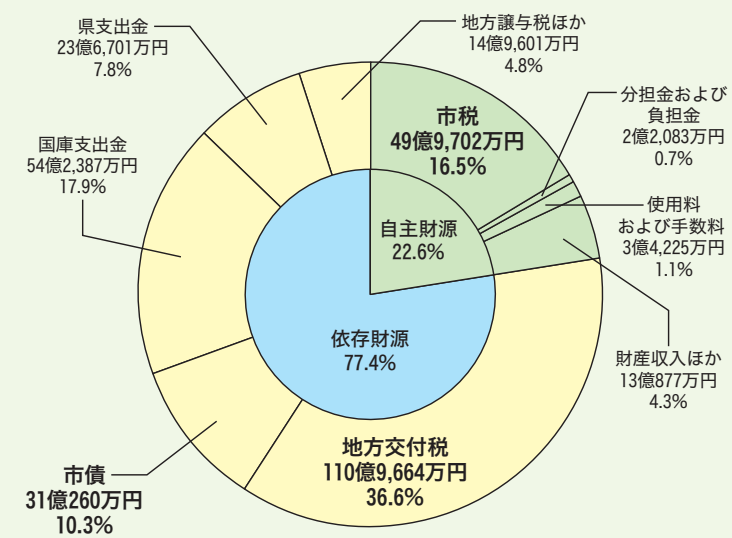
POINT! 当初予算のポイント

- ★過去10年で最小の予算規模
- ★コロナ即応型の予算
- ★感染症対策、市民生活・地域経済支援に重点
- ★子育て支援等のサービス向上

令和3年度一般会計予算額は、303億5,500万円で令和2年度から5億6,800万円削減となったよ。これは、大型建設事業の縮減と新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、すべての事業を精査し、不要不急の支出を抑制したためなんだ。その結果、財政調整基金残高(貯金額)は前年度同期より約4億900万円増の約9億1,000万円になったよ。今後も、残高の目安とされる金額(約17億円)を目標に事業を精査していくよ。



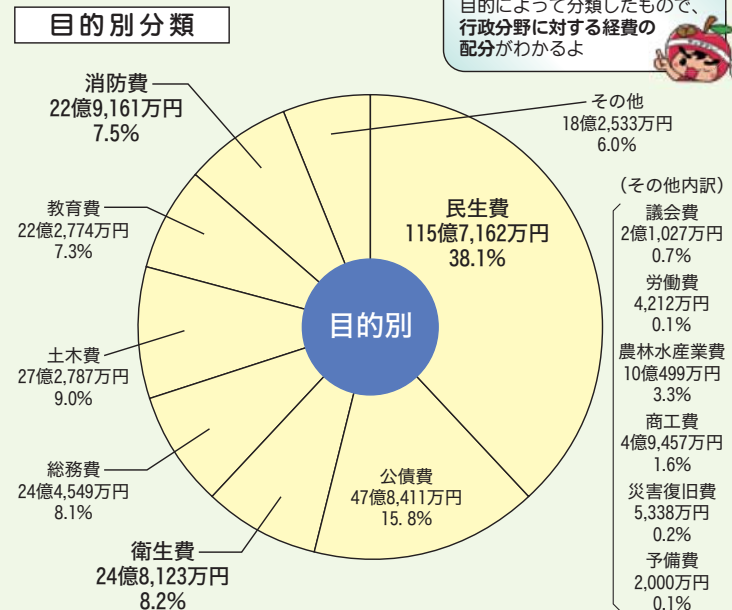
〈一般会計歳入 (303億5,500万円)〉



〈主な歳入の種類〉

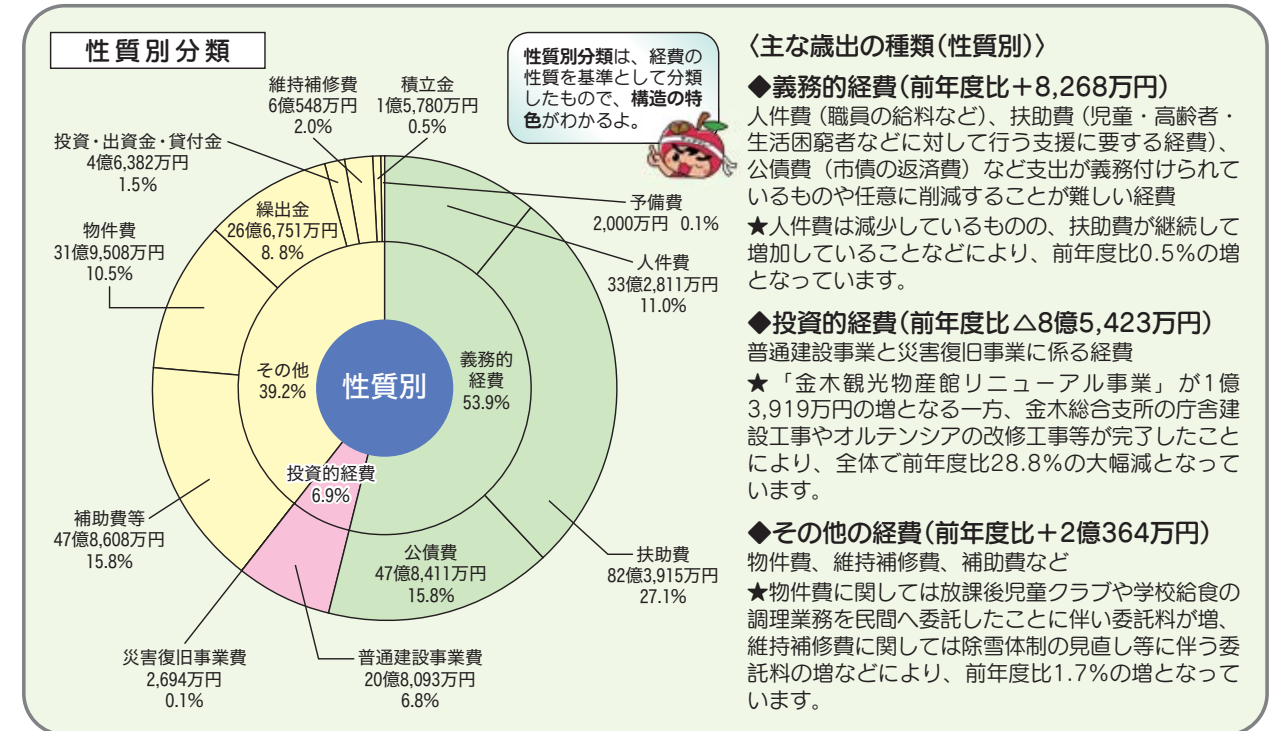
- ◆市税 (前年度比△1億6,557万円)
個人市民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税、人湯税
★新型コロナウイルス感染症の影響による景気の落ち込みにより、前年度比3.2%の減の予想となっています。
- ◆地方交付税 (前年度比△7,920万円)
国が市町村に交付する普通交付税、特別交付税
★令和3年度の普通交付税は前年度比9,710万円、1.0%の増を見込んでいますが、特別交付税については近年の他地域での災害を鑑み、1億7,630万円、14.8%の減を見込んでいます。地方交付税総額では、前年度比7,920万円、0.7%の減となっています。
- ◆市債 (前年度比△2億2,589万円)
建設事業等を行う際に、その資金とするための市の借入金
★令和3年度の借入額は、大型施設の整備事業が完了したことにより、前年度比5億4,350万円の減となり、市債全体で前年度比2億2,589万円、6.8%の減となっています。

〈一般会計歳出 (303億5,500万円)〉



〈主な歳出の種類 (目的別)〉

- ◆民生費 (前年度比+2億618万円)
児童手当費、生活保護費、障害福祉サービス費、老人福祉関係費など福祉全般に係る経費
★「子宝祝金支給事業」の対象を拡充したほか、子どもの入院・通院を対象とした「子ども医療費給付事業」も無償化を継続し、前年度比1.8%の増となっています。
- ◆衛生費 (前年度比△8億7,627万円)
医療や健康増進、環境対策などに係る経費
★西部クリーンセンターの改修工事や一般廃棄物最終処分場建設事業が完了したことなどにより、前年度比26.1%の大幅減となっています。
- ◆消防費 (前年度比+5億5,649万円)
消防事務組合への負担金、消防施設の整備費など消防、防災に係る経費
★金木中里統合消防署の建設工事が本格化するなど32.1%の大幅増となっています。



〈主な歳出の種類 (性質別)〉

- ◆義務的経費 (前年度比+8,268万円)
人件費(職員の給料など)、扶助費(児童・高齢者・生活困窮者などに対して行う支援に要する経費)、公債費(市債の返済)など支出が義務付けられているものや任意に削減することが難しい経費
★人件費は減少しているものの、扶助費が継続して増加していることなどにより、前年度比0.5%の増となっています。
- ◆投資的経費 (前年度比△8億5,423万円)
普通建設事業と災害復旧事業に係る経費
★「金木観光物産館リニューアル事業」が1億3,919万円の増となる一方、金木総合支所の庁舎建設工事やオルテンシアの改修工事が完了したことにより、全体で前年度比28.8%の大幅減となっています。
- ◆その他の経費 (前年度比+2億364万円)
物件費、維持補修費、補助費など
★物件費に関しては放課後児童クラブや学校給食の調理業務を民間へ委託したことに伴い委託料が増、維持補修費に関しては除雪体制の見直しに伴う委託料の増などにより、前年度比1.7%の増となっています。

主な新規事業

◎子育て支援アプリ導入事業
子育て世代の「妊娠・出産・育児を切れ目なく支援」するための手段としてスマートフォンを活用し、育児情報の提供や予防接種管理、成長の記録の保存を可能にするほか、**オンライン相談の体制を整備**する。
115万円

◎輝く☆学生応援プロジェクト事業
大学生や高校生の市内への定住意識の醸成および関係人口の増加を図るため、**学生団体が学校活動外において自主的に行う、市の活性化を目的とした活動に対して、その費用を支援**する。
124万円

◎若手人材地元就職促進事業
新型コロナウイルス感染症の影響により、地元志向の若者が増加している一方で、地元企業では人手不足や後継者不足といった問題を抱えており、このような若者と地元企業のニーズに対応するため、**オンライン形式による企業説明会を開催し、若者の地元企業への就職および定住の促進**を図る。
260万円

◎稲わら活用Win-Winモデル事業
稲わらの有効利用と焼却防止を目的とした協議会を設立し、稲作農家への啓発活動と、稲わらを利用した新たな産業と雇用の創出を図る。
194万円

続いて、令和3年度の新規・拡充事業の一部を紹介するよ!

主な拡充事業

○子宝祝金支給事業
少子化対策の一環として、**次世代を担う子どもの出産を祝い10万円を支給**する。新型コロナウイルス感染症による影響等を考慮し、令和3年度から令和5年度においては、これまでの第3子以降の出産に加え、第1子、第2子の出産も対象とし、すべての新生児の出産に祝い金を支給する。
2,500万円

○すくすく学校給食応援事業
子育て家庭の経済的負担の軽減を図るために、市立小中学校に在学し学校給食を受けている児童生徒の保護者で市内に住所を有する者を対象に、**学校給食費の全額を支援**する。
1億5,000万円

○地域おこし協力隊活動事業
地域力の維持・強化を図るため、地域活性化に意欲のある都市部の人材を地域おこし協力隊として受け入れ、地域協力活動に従事してもらいながら、**当市への定住・定着**を図る。令和3年度は、「**金木・市浦地域の活性化**」や「**赤～いりんごの普及・振興**」をミッションとする4名の地域おこし協力隊の採用を予定している。
651万円

予算概要や新規・拡充事業の詳細はホームページを確認してね!

財政課HP: <http://www.city.goshogawara.lg.jp/jouhou/sosiki/zaisei.html>